

CHALLENGE NEWS

チャレンジニュース!!

一発行一
社会福祉法人 明徳会
〒861-5503
熊本市明徳町707-1
TEL(096)215-9101
FAX(096)245-2344

障害者支援施設
チャレンジめいとくの里

障がい者ケアホーム&グループホーム
orangehouse

8月のラインナップ!!

P 1. 「福祉の流れ」

P 2. 「対談」

～医務課&栄養課～

P 3. 「1日密着取材」

～あおぞら（療育班）スタッフ編～

P 4. private eye その他



こころとこころが通う、

深く向き合った

支援をしよう。

challenge 2012

「福祉の流れ」

理事長 樺嶋 潤一郎

このたびの、九州北部豪雨災害により被害を受けた皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、今年も暑さが厳しく体調管理には気を付けたいものですね。

さて、福祉制度の方はというと、六月二十日に「障害者総合支援法」が成立し、来年四月の施行が決定しました。

平成十八年からの「障害者自立支援法」は七年で幕を閉じることになったわけですが、この間、改正、見直し、膨大な種類の加算の対応など修正の連続で法律に振り回され続けたというのが実感です。

今回の法律について少し触れます。障害者の範囲については難病等を加える、障害程度区分を障害支援区分に改める（平成二六年四月）、グループホームとケアホームを一元化する（平成二六年四月）、等が主にあげられます。

このように、いわば本丸というか、一番重要な部分については平成二六年四月からとなっているため、これから議論が本格的に行われるはずですよ。

また、今年度から福祉サービスの支給決定については、「サービス利用計画案」を一人一人作成することになり、相談支援事業所がその役割を担うことになっているため相談支援事業所を持つ当法人としてもその対応に追われていくところですよ。

法律関連についてももうひとつ、今年度は、障がい者の人権について考える元年だと私は思います。熊本県では今年度より「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」が施行され、国では、今年の十月から、「障害者虐待防止法」がいよいよ施行されます。又、障がい者の「差別禁止法」の策定も急がれています。

ご利用者様の権利擁護については、当法人でも、最も大切にしている事であり、内部研修や、日ごろのケース会議で議題にしたり、アンケート調査をしたりして日々確認をしているつもりです。

ですが今回の法律施行で再度確認する必要があると考えています。福祉をとりまく環境や人すべてが変化を続けている限り、その努力を続けることは当たり前前の事だと思えます。

福祉の流れは、様々な困難や回り道があったかもしれませんが確実に進化していると信じています。

このタイミングで障がい者の人権について国全体が見つめ直すことは、今後の法整備についても、きつと良い方向に進んでくれると期待しています。誰の方を向いて、誰のために、福祉を考え進めるのか。当たり前の事を、再度しっかりと見据えることが今求められています。

めいとくフェスタ開催決定!! 実施日: 11月3日(土)

今回のめいとくフェスタは、“エコ”がテーマとなっています。そこで、現在めいとくで取り組んでいるエコキャップ回収を、めいとくフェスタでも実施することになりました!! フェスタ当日にめいとくに来園される際は、是非エコキャップをご持参ください。

- エコキャップとは?
ペットボトルのフタを集めて再利用することです。
- キャップを再利用すると?
ワクチン(病気を予防する注射)になります。
- ワクチンの相場は?
ペットボトルのフタを800個集めて1本のワクチンになります。ワクチンは1本20円です。

☆20円で一人の子供の命が救われます!!
エコキャップの回収にご協力お願い致します



PrivateEyes

～「私のおススメの一品」～
きらりグループ(生活介護)リーダー 村上 学

この暑い時期に動き回る男性方にピッタリのお勧めの一品が、<冷却デオシャワー>です。これを一振りすると一瞬にして火照った身体がクールダウンするんです。



私は仕事の前や、ウォーキング後の汗をかいた後に使っています。言いすぎかもしれませんが、シャワーを浴びたかのように身体がスツとするのです。ちょっとかけ過ぎるとヒリヒリするくらい爽快なんです。

すでにめいとくの里で男性職員に勧めたところ、二名の職員が愛用しています。

暑い夏を爽やかに乗り切るために、ぜひ一度試してみたいはいかがでしょうか。



地域生活支援センター チャレンジ

7月12日九州北部豪雨で被害を受けられた皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

12日午前4時過ぎ、熊本市災害情報メールで植木町の一部に避難勧告発令。その後も次々と避難情報、災害情報をメールで確認しました。同時に1人暮らし、高齢家族世帯など地域でお暮らしの方が心配になり、数名の方に電話連絡を取り関係者に被害なく安心しました。

災害時の備えについて、熊本市等災害時のメール情報登録、熊本市災害時要援護者登録制度登録、校区の避難場所の確認、災害時の連絡先を決めておくなど、今出来ることから始められることをお勧めします。

相談支援事業所としても、1人でも多くの方に情報提供できるように努めたいと思います。

地域生活支援センターチャレンジ
(旧:めいとく福祉相談室) 後藤
◎住所 熊本市植木町植木 163-1
◎電話 227-6450 ◎F a x 227-6451
◎E-mail meitoku-challenge@live.jp

ボランティア募集



- 活動ボランティア
日中の生活場面においてサポートしていただける方
- フィーバーボランティア
第1金曜日に実施しているディスコやイベントと一緒に楽しんでいただける方
ボランティア未経験の方でも大歓迎です。
気軽にご連絡下さい。

電話
096-215-9101
Male
meitokunosato@yahoo.co.jp
ボランティア担当:今井

連絡先QRコード



1日密着取材 ~あおぞら療育班スタッフ編~

右澤美沙子 支援員



所属グループ:あおぞらグループ療育班(生活介護)
勤続年数:2年
勤務体制:3勤 9:30~15:30



13:30



【月曜・水曜】
近隣の公園まで行き、ウォーキングを行う。



【火曜・木曜・金曜】
個別活動で、動作訓練・貼り絵・感覚遊び・個別教材を行っている。
(個別教材の場合は、支援員とマンツーマンで行う。)



15:15



活動終了後、通所部ご利用者様は帰宅の準備を行う。



15:30



帰宅準備が出来たご利用者様から送迎車に誘導し、勤務終了。

次回は、通所部支援員・スタッフに1日密着取材です!!
お楽しみに!!



~1日の流れ~



9:30



出勤後、申し送りを聞き、ご利用者様と施設内の掃除を行う。



10:00



【月曜・水曜】
ご利用者様の誘導を行い、朝の挨拶後、サーキットトレーニング(体のバランスや体のコントロールといった能力を身につける)を行う。



【火曜・木曜・金曜】
ご利用者様の誘導を行い、朝の挨拶後、ウォーキングを行う。



12:00



食事介助を行い、見守りながら昼食を摂る。

「プロとプロの対談」

医療課&栄養課

第二回の対談は、めいどの里のご利用者様が「安心」「安全」「安らぎ」の中で生活出来るよう支えてくれている医療課と栄養課の二人からお話しを伺いました。

◆今年の夏は暑いですね。医療課としてこの、夏特に注意している点はありますか？
異常気象ですね。熱中症を心配しています。活動で戸外へ行く際は、必ず帽子の着用を呼びかけています。また水分補給も忘れないようにして欲しいです。



◆次に栄養課(山木栄養士)に伺います
◆栄養課として、この夏特に注意していることなどはありますか？

夏場は食中毒の発生しやすい時期ですので、委託している業者のスタッフの方にも、勉強会を実施し、食中毒がおこらないよう衛生管理に十分注意しています。

◆最後に今回の対談で一番聞きかたかった「連携」について聞かせて下さい。



七夕バイキング 工夫されたメニュー

いなりずし・サンドウィッチ・デザートなど。

◆暑い夏を乗り切るために、食事メニューの工夫などありますか？
ご利用者様が残さず食べて下さる事が、嬉しい限りです。
やはり、暑い夏ですので食欲が落ちることも・・・。さっぱりしたメニューやスパイシーなメニュー(弱めです)。スタミナがつくようなメニューを意識して献立に取り入れてます。

(栄)健康面と栄養面は深く関わっていますので、何か問題があった場合は、医療課より連絡をもらい相談しながら食事への対応を行っています。
入所ご利用者様は、栄養ケアマネジメンも行っていきますので、大小に関わらず、疑問に思う事があれば医療課や、支援員を交えて相談し、ご利用者様の健康が維持できるように対応しています。
(医・栄)具体的な例としては、入院治療をされていたご利用者様が退院され施設生活に戻られる際、食事や治療など工夫して取り組みました。その結果、アルブミン値が改善され、数値的にも健康状態的にも良い方向へ向かった時は二人で涙を流して喜びました。



山木栄養士

チャレンジめいどの里には、さまざまな職種で専門的な知識の元、ご利用者様へ「安心」「安全」「安らぎ」を提供する者が働いています。例えて言えば縁の下の力持ち。
支援員として勤務する記者ですが、二人の知識の深さと、プロとしての意識の高さを支援の中でも感じています。



古田看護師